

北広島市国民健康保険第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画(案)
平成30年度～平成35年度
 - 概要版 -

■計画策定の趣旨

北広島市では平成25年度に「第2期特定健康診査等実施計画」を策定し、糖尿病等の生活習慣病予防を目的に特定健康診査及び、特定保健指導を実施してきました。また、平成27年度に、「第1期データヘルス計画」を策定し、レセプト等の健康・医療データの分析に基づき効果的な保健事業を実施しています。両計画が平成29年度末に計画期間が終了することから、現計画の目標達成状況、各保健事業の効果を検証し、被保険者の健康の保持増進、医療費適正化のため平成30年度から新たな計画を策定します。計画期間は国の指針に基づき、平成30年度から平成35年度までの6年間の計画とします。

■現計画の評価

①目標の達成状況

医療費が高額となる疾患、長期入院となる疾患、長期化する疾患、介護認定者の有病状況の多い疾患の患者数の減少と一人当たりの医療費の減少を中長期的な目標としました。また、中長期目標疾患に共通する動脈硬化危険因子であるメタボリックシンドローム、高血圧などの減少を短期的な目標としました。

	指標		目標	達成度（達成◎ 未達成△）		
				H26年度	H28年度	達成
中長期的目標	虚血性心疾患患者		減少	980人	907人	◎
	脳血管疾患患者			748人	715人	◎
	糖尿病性腎症患者数			101人	86人	◎
	一人当たりの医療費			29,464円	30,347円	△
	一人当たりの入院医療費			13,170円	13,297円	△
短期的目標 (特定健診結果)	メタボリック シンドローム	予備群	11.7%	10.1%	◎	
		該当者	16.7%	18.0%	△	
	高血圧(160mmHg以上/100mmHg以上)の割合		4.1%	4.6%	△	
	LDLコレステロール(180mg/dl以上)の割合		4.5%	5.1%	△	
	中性脂肪(300mg/dl以上)		1.8%	2.0%	△	
	HbA1c6.5%以上(治療中7.0%以上)		5.8%	5.4%	◎	

②データヘルス計画のターゲットとなる疾患が医療費に占める割合

(平成26年度と平成28年度との比較)

			北広島市		道	国
			平成26年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度
総医療費			52億4,293万円	50億9,012万円	4,470億6,801万円	9兆6,879億円
(中長期・短期) 目標疾患医療費計			11億6,899万円	10億2,800万円	927億452万円	2兆2,399万円
			22.32%	20.20%	20.70%	23.10%
中長期 目標疾患	腎臓	慢性腎不全 (透析有)	2.26%	2.25%	3.60%	5.40%
	脳	脳梗塞 脳出血	3.14%	2.11%	2.41%	2.23%
	心臓	虚血性心疾患	3.90%	3.00%	2.37%	2.04%
短期 目標疾患	糖尿病		5.12%	5.34%	5.13%	5.40%
	高血圧		4.92%	4.49%	4.36%	4.75%
	脂質異常症		2.72%	2.67%	2.56%	2.95%
新生物			15.45%	17.23%	15.80%	14.21%
精神疾患			8.00%	8.90%	9.53%	9.40%
筋・骨疾患			7.90%	8.80%	9.10%	8.50%

平成26年度と平成28年度を比較すると、中長期的および短期的目標疾患のほとんどの疾患において総医療費に占める割合が減少し、目標疾患医療費計が減少しました。平成28年度の全医療費に占める目標疾患の医療費の割合は道、国より低くなっています。

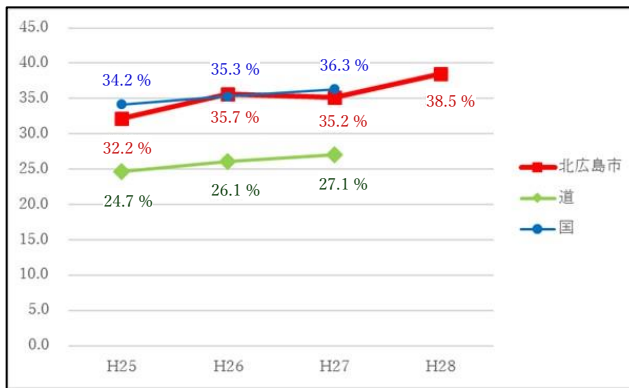
③介護給付費の状況

年度	北広島市			同規模	
	介護給付費	1件当たり給付費	増減率	1件当たり給付費	増減率
平成26年度	34億799万9,193円	56,017円		63,011円	
平成28年度	35億6,970万2,393円	50,853円	▲9.2%	61,236円	▲2.8%

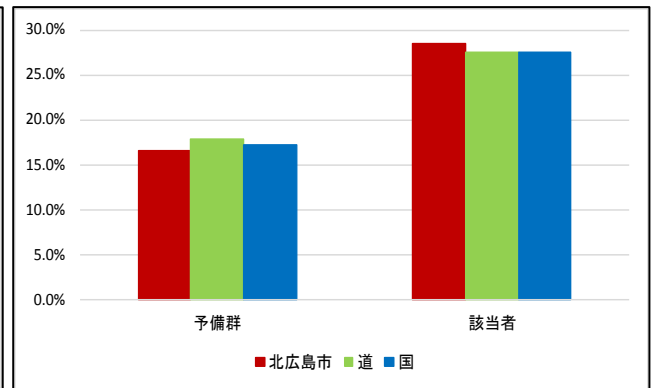
重症化の指標となる介護給付費は、介護認定者の増加により増えていますが、1件当たり給付費は減少しました。1件当たりの増減率を同規模と比較すると、北広島市の減少率が高くなっています。

■現状分析と課題

① 特定健診受診率の推移



② メタボリックシンドローム対象者率(男性)平成 28 年度



特定健診受診率は伸びていますが、国の目標 60.0%には達していません。

また、男性のメタボリックシンドローム該当者が国、道と比べて高く、3.5 人に 1 人が該当者となっています。

③ レセプトからみた重症化する基礎疾患の重なり (平成 28 年 5 月診療分)

レセプト数	虚血性心疾患	脳血管疾患	糖尿病性腎症
生活習慣病全体 (5,536 人)	907 人 16.4 %	715 人 12.9 %	86 人 1.6 %
↓ ↓ ↓ 共通する基礎疾患の重なり			
高 血 圧 (2,972 人)	727 人 80.2 %	560 人 78.3 %	73 人 84.9 %
糖 尿 病 (2,164 人)	605 人 66.7 %	386 人 54.0 %	86 人 100.0 %
脂質異常症 (2,790 人)	694 人 76.5 %	526 人 73.6 %	73 人 84.9 %

虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症は、動脈硬化の危険因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症に罹患している割合が高くなっています。

■第 3 期特定健康診査等実施計画

① 特定健診受診率、特定保健指導実施率の目標値を以下のとおり設定します。

	平成 28 年度 実績	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	国の目標 平成 35 年度
特定健診受診率	38.5 %	42.0%	45.0%	48.0%	52.0%	56.0%	60.0%	60.0 %
特定保健指導実施率	59.5 %	60.0%	61.0%	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	60.0 %

② 対象者は、特定健診の対象者である 40 歳から 74 歳までに加え、生活習慣病の中長期的な予防を目指し、30 歳から 39 歳までについても、特定健診に準じた健診項目を実施します。

③ 検査項目は国が定めた基本項目に加え、追加の検査 (心電図検査・血清クレアチニン等)を実施します。

■第2期データヘルス計画

健康課題を分析した結果、第1期計画の方向性を継続し、さらなる改善を目指して中長期的目標とそれを達成するための短期的目標を設定します。

① 中長期的・短期的な目標

	指標	現 状 (平成 28 年度)	目標値 (平成 35 年度)	備 考	
中長期的 目標	虚血性心疾患の総医療費に占める割合	3.00 %	2.94 %		
	脳血管疾患の総医療費に占める割合	2.11 %	2.06 %		
	糖尿病性腎症による透析者の割合	0.28 %	0.25 %		
短期的 目標	メタリックシフト・ロム予備群・ 該当者の割合	予備群	10.1 %	9.6 %	
		該当者	18.0 %	17.1 %	
	高血圧(160mmHg 以上/100mmHg 以上)の割合	4.6 %	4.4 %		
	LDL コレステロール(180mg/dl 以上)の割合	5.1 %	4.8 %		
	糖尿病 HbA1c6.5%以上の割合 (治療中 7.0%以上)	5.4 %	5.1 %		
	糖尿病未治療者を治療に結びつける割合	—	85.0 %	80%以上実施	
	糖尿病の保健指導を実施した割合	—	85.0 %	80%以上実施	

② 保健事業の実施

(1)糖尿病性腎症重症化予防

糖尿病性腎症による透析導入者を減らすため、対象者の早期発見に努め、保健指導を実施していきます。また、糖尿病の治療を中断することがないように、かかりつけ医と連携を密にし、支援を行います。

(2)虚血性心疾患、脳血管疾患重症化予防

基礎疾患となる高血圧、糖尿病などが重症化しないよう、保健指導を実施します。

(3)特定健診の受診率向上

40～64歳の若い年齢層や生活習慣病治療中者、過去未受診者の受診に向けて、一層の周知、啓発を図ります。

(4)ポピュレーションアプローチ

出前講座や介護予防事業等で生活習慣病重症化予防の必要性を啓発し、被保険者自身が健康保持増進と健康寿命の延伸に向けて主体的に取り組むことができるよう支援します。